

東京春祭  
Spring Festival in Tokyo

# 東京・春・音楽祭 2026

SPRING FESTIVAL IN TOKYO

Der fliegende Holländer  
Tokyo-HARUSAI Wagner Series vol.17  
(Concert Style)

指揮: アレクサンダー・ソディ

Conductor: Alexander Soddy

ダーラント: タレク・ナズミ

Daland: Tareq Nazmi

ゼンタ: カミラ・ニールンド

Senta: Camilla Nylund

エリック: デイヴィッド・バット・フィリップ

Erik: David Butt Philip

マリー: カトリン・ヴンドザム

Mary: Katrin Wundsam

舵手: トーマス・エベンシュタイン

Der Steuermann: Thomas Ebenstein

オランダ人: ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー

Der Holländer: Michael Kupfer-Radecky

管弦楽: NHK交響楽団

Orchestra: NHK Symphony Orchestra, Tokyo

合唱: 東京オペラシンガーズ

Chorus: Tokyo Opera Singers

合唱指揮: エベルハルト・フリードリヒ、西口彰浩

Chorus Master: Eberhard Friedrich, Akihiro Nishiguchi

音楽コーチ: トーマス・ラウスマン

Musical Preparation: Thomas Lausmann

東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.17

# さまよえるオランダ人

全3幕 / ドイツ語上演・日本語字幕付 ※幕間の休憩はございません。

(演奏会形式)

2026

4.5<sup>[日]</sup> 15:00 4.7<sup>[火]</sup> 18:30

東京文化会館 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan, Main Hall

S ¥27,000 A ¥22,500 B ¥18,500 C ¥15,000 D ¥12,000 E ¥9,000 U-25 ¥3,000

※U-25は2月13日[金]12:00発売(音楽祭公式サイト限定取扱) ※ライブ・ストリーミング配信のネット席(有料)に関する情報は2月頃発表予定。

※残席があり会場にて当日券を販売する際、料金は各席種+500円となります。

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭サポートデスク

050-3496-0202 (月曜・水曜・金曜ならびにチケット発売日 10:00-14:00) ※音楽祭開催期間中は、土・日・祝日も含め全日営業

主催:東京・春・音楽祭実行委員会 共催:NHK交響楽団 後援:日本ワーグナー協会 助成:公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド

100<sup>th</sup>  
NHKSO  
NHK SYMPHONY ORCHESTRA  
TOKYO

# ヤノフスキからの継承——東京春祭ワグナー・シリーズ 新章開幕

東京・春・音楽祭の代名詞ともいえる公演のひとつ「ワグナー・シリーズ」。

巨匠ヤノフスキと作り上げてきたワグナー・シリーズが、次の世代へと受け継がれます。

新章のトップバッターは近年活躍も目覚ましく、まさに飛ぶ鳥を落とす勢いで躍進中の指揮者アレクサンダー・ソディ。

世界の主要な歌劇場で聴衆を沸かせる存在に昇りつめた俊英のタクトのもとに、

カミラ・ニールンド、ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー、タレク・ナズミ、デイヴィッド・バット・フィリップ等、

第一線の舞台上で活躍するワグナー歌手陣が東京―上野に集結、

望みうる最高の「ワグナー」をお届けします。

管弦楽には2026年に創立100年を迎えるNHK交響楽団、合唱は多くの指揮者からその質の高さを称賛される

東京オペラシンガーズが担います。

## アレクサンダー・ソディ (指揮) Alexander Soddy (Conductor)

英オックスフォード出身。王立音楽院、ケンブリッジ大学、ロンドンの国立オペラ・スタジオで学ぶ。2010～12年までハンブルク州立歌劇場カペルマイスター、13～16年までクラークゲンフルト市立劇場首席指揮者、16～22年までマンハイム国民劇場音楽総監督を歴任し、独逸系のレパートリーを多数指揮。有望な若手指揮者として、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、コヴェント・ガーデンのロイヤル・オペラ・ハウス、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーバー等、世界の一流歌劇場に定期的に客演。コンサートでは、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ウィーン響、フィルハーモニア管、ベルン響、ミュンヘン放送管、読響、都響等を指揮し、25年夏にはセイジ・オザワ 松本フェスティバルに初登場した。



©Marco Borggreve

## タレク・ナズミ ターラント (バス)

Tareq Nazmi / Daland (Bass)

ミュンヘン音楽・演劇大学、バイエルン国立歌劇場で研鑽を積む。独自の作りで国際的に活躍。主な出演は、ザルツブルク音楽祭での《魔笛》ザラストロ、ウィーン国立歌劇場での《ローエングリン》ハイリヒ王、バイエルン国立歌劇場での《バルジファル》グルネマンツ等。東京春祭には昨年ワグナー・シリーズ《バルジファル》他に多数出演。



©Andrew Staples

## デイヴィッド・バット・フィリップ エリク (テノール)

David Butt Philip / Erik (Tenor)

英サマセット州出身。王立音楽院、国立オペラ・スタジオ等で学ぶ。ウィーン国立歌劇場での《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ヴァルター、ベルリン・ドイツ・オペラでの《ローエングリン》タイトルロール等に出演。2023年の東京春祭ワグナー・シリーズ《ニュルンベルクのマイスタージンガー》でヴァルターを歌った。



©Julia Wesely

## トーマス・エベンシュタイン 舵手 (テノール)

Thomas Ebenstein / Der Steuermann (Tenor)

オーストリア・ケルンテン州生まれ。ウィーン国立音楽大学で学ぶ。ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーバー、ハンブルク州立歌劇場、バーデン＝バーデン祝祭劇場他に出演。主要なレパートリーは、《さまよえるオランダ人》舵手、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ダフィット他。



©Shirley Suarez

## カミラ・ニールンド センタ (ソプラノ)

Camilla Nylund / Senta (Soprano)

フィンランド出身。幅広いレパートリーを誇り、ワグナーや R. シュトラウスの主要な役を得意としている。ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリのオペラ・バステュー、ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭等に定期的に客演。



©Liliya Namanyik

## カトリン・ヴンドザム マリー (メゾ・ソプラノ)

Katrin Wundsam / Mary (Mezzo-soprano)

オーストリア出身。ベルリン国立歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーバー、ハンブルク州立歌劇場、エルブフィルハーモニー・ハンブルク、ウィーン楽友協会、ブレンツ音楽祭等、世界の一流歌劇場、コンサートホール、音楽祭で活躍。2023年の東京春祭ワグナー・シリーズ《ニュルンベルクのマイスタージンガー》でマグダレーネを歌った。



©Dan Hannen

## ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー オランダ人 (バリトン)

Michael Kupfer-Radecky / Der Holländer (Baritone)

引く手あまたのドイツ人バリトン。パリのオペラ・バステュー、ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、バイロイト音楽祭等で活躍。主な出演は、ドレスデン音楽祭での《レオノーレ》ビツァロ、カタリーナ・ワグナー演出による東京・新国立劇場での《フィデリオ》ビツァロ、マンハイムでの《さまよえるオランダ人》タイトルロール等。

管弦楽：NHK 交響楽団

Orchestra : NHK Symphony Orchestra, Tokyo

合唱：東京オペラシンガーズ

Chorus : Tokyo Opera Singers

合唱指揮：エベルハルト・フリードリヒ、西口彰浩

Chorus Master : Eberhard Friedrich, Akihiro Nishiguchi

音楽コーチ：トーマス・ラウスマン

Musical Preparation : Thomas Lausmann

## こちら必聴! 巨匠マレク・ヤノフスキ指揮《グレの歌》

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.13

## シェーンベルク《グレの歌》

2026 3.25<sup>[水]</sup> 19:00

東京文化会館 大ホール

指揮：マレク・ヤノフスキ  
ヴァルデマル王：デイヴィッド・バット・フィリップ  
ト・ヴェ：カミラ・ニールンド  
農夫：ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー  
山鳩：カトリン・ヴンドザム  
道化師クラウス：トーマス・エベンシュタイン  
語り手：アドリアン・エレート  
管弦楽：NHK交響楽団 合唱：東京オペラシンガーズ

[2025年11月21日現在]

## 東京・春・音楽祭 2026

春が訪れ 桜がひらいて 音楽が始まる 上野の森に



コンテンツ充実! 東京・春・音楽祭公式サイト

東京の春の訪れを、音楽を介したお祭りで祝う——

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野の杜を舞台に、桜の季節に開催する音楽祭です。国内外から一流アーティストが集い、演奏会形式のオペラや室内楽、歌曲リサイタルをはじめ、美術館・博物館でのミュージアム・コンサートなど充実したラインナップでお届けいたします。その他、お子様に楽しんでいただけるプログラムや、上野界隈やオフィス街、街角での小さな無料のコンサート「桜の街の音楽会」も予定。22回目となる2026年も心躍る春を様々な音色で彩ります。

## 東京・春・音楽祭オンライン・チケットサービス



www.tokyo-harusai.com

座席選択可 ご利用には登録(無料)が必要です。

バラエティに富んだサービスをご用意しております。



お買い物カゴ  
(おまとめ予約)



トリオ・チケット  
(5〜8席限定)



U-25チケット  
U-25 スペシャル★



電子チケット  
(チケットれずQ)



音楽祭  
公式プログラム付  
チケット



各サービスの詳細やチケットの申込みはこちらから

その他  
チケット  
サービス

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/harusai/>

WEBチケットN響 <https://nhkso.pia.jp/>

N響ガイド 0570-02-9502

お問  
合せ

東京・春・音楽祭サポートデスク 050-3496-0202

月曜・水曜・金曜ならびにチケット発売日 10:00~14:00

音楽祭開催期間中は土・日・祝日も含め全日営業

※公演に関するお問合せにお答えいたします。※オンライン・チケットサービスのご利用について、ご案内いたします。※サポートデスクではチケットのご予約は承りません。※ご鑑賞の際、車椅子をご利用のお客様はチケットご予約前に東京・春・音楽祭サポートデスクまでお問合せください。

●未就学児の入場はお断りいたします。●記載のチケット代金はすべて消費税込みの金額です。なお、チケットご購入の際、別途各種手数料やシステム利用料がかかります。ご利用のプレイガイドやお求め方法により金額は異なります。●やむを得ない事情により公演内容を変更、または公演を中止する可能性があります。最新情報を音楽祭公式サイトやSNSにてご確認ください。公演中止以外の理由での払戻しはいたしません。●チケット代金のお支払い後、お客様の事情による変更・キャンセルは承りません。●鑑賞目的のチケットの転売は固くお断りします。不正転売されたチケットではご入場いただけず、金銭的な保証は一切ございません。正規の方法以外で購入したチケットのトラブルに関して、当実行委員会はいかなる責任も負いません。●会場では写真及び動画による撮影・収録を行います。ロビーや客席の様子が一部映り込む場合がございます。予めご了承ください。